

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2025年3月10日時点)

- **ウクライナ軍が露西部クルスク州における作戦及び露領内への無人機攻撃を継続する一方、露軍は、ウクライナ東部への攻勢及びウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続しつつ、クルスクへの攻勢を強化している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約19.8万人(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
: 死者約20万人、負傷者約40万人(WSJ24年9月17日)
: 死傷者87万人以上(英国防省25年3月5日)
「ウ」軍: 死者4.3万人(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
: 死者約8万人、負傷者約40万人(WSJ24年9月17日)
「ウ」市民: 死者12,654人以上、負傷者2万9,392人以上(UN25年2月21日)

- 「ウ」情報総局副局長は、昨今、露の攻撃数等が減少しているが、これは**更なる攻撃計画、兵員の訓練、弾薬の補充等**のためである旨言及。また、対「ウ」に投入されている露の陸上兵力は、20万人以上の突撃部隊を含む**62万人**であると発言(3月3日)
- 英国防省は、2025年2月の露死傷者数は、**1月よりも1.3万人少ない約3.5万人**であり、減少の理由は露の攻勢減少を反映している可能性と指摘(3月5日)
- 韓国メディアは、「ウ」情報総局長らと面会した韓国議員によれば、北朝鮮兵士は**死者約400人、負傷者約3,600人**であるほか、**約1,500人が第2陣として派兵**され、さらに**約3,500人が露極東地域の5か所で訓練中**と報道(3月5日)
- 露国防省は、クルスク州において、2月28日に**ニコリスキー、ノヴァヤ・ソロチナ**を奪還したと発表
- 露国防省は、3月1日にドネツク州**スクドネ**、6日にドネツク州**アンドリウカ**を解放したと発表

- ゼレンスキー大統領は、まず第一に、**エネルギー・民間インフラに対する攻撃停止**(ミサイル、爆弾、長距離無人機の使用停止)及び**海上での停戦**(黒海における軍事作戦停止)により、露が終戦の必要性を認識しているか確認する必要があると表明(3月6日)
- 「ウ」無人システム部隊司令官は、2024年に「ウ」が、**220万機の小型FPVドローン、10万機の長距離無人機**を製造したと発言(3月5日)



- 「ウ」軍総司令官は、露が3月1日に、**クラスター型の弾道ミサイル「イスカンデルM」**により、ドニプロペトロウシク州にある「ウ」陸軍の演習場を攻撃し、死傷者が発生したと表明。露国防省も同攻撃を実施した旨発表(3月4日)

国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等